

地域でみんながふれあい支えあって自分らしく安心して暮らせるまちづくり

けせんぬま 社協だより

№ 119 2025.12.1

発行 / 社会福祉法人
気仙沼市社会福祉協議会



気仙沼市東新城 2-1-2
TEL 0226-22-0709
FAX 0226-22-4467



歌声にのせてつながる地域の輪 — 田中4区「歌謡の集い」—



地区にお住まいの元音楽教諭の呼びかけで始まった「歌謡の集い」は、地域の皆さんが気軽に参加できる楽しい交流の場として続いています。軽い体操のあと、懐かしい歌や童謡、気仙沼にちなんだ曲などをみんなで歌い、笑顔が広がります。

自治会では、地域の特技や得意分野を活かした活動づくりに取り組み、住民同士のつながりを深めています。





おめでとうございます

社会福祉大会等

受賞者紹介

永年にわたって社会福祉に寄与されてきた功績に対し、次の方々へ表彰状並びに感謝状が贈呈されましたのでご紹介いたします。

第94回全国民生委員児童委員大会

令和7年9月4・5日 於北海道

【全国民生委員児童委員連合会会長表彰】

永年勤続単位民生委員児童委員

協議会会長表彰

渡邊 耕 良 様

民生委員・児童委員功労者表彰

春日 京 子 様

佐藤 祐 章 様

須田 祐 子 様

小野寺 英 子 様

吉田 きく 子 様

小野寺 悦 子 様

佐藤 工 様

永年勤続民生委員・児童委員表彰

佐々木 優 子 様

斉藤 みゆき 様

井上 栄 子 様

小山 信 治 様

佐藤 久美子 様

宮内 美智代 様

伊藤 美江子 様

第71回宮城県社会福祉大会

令和7年11月6日 於仙台市

【宮城県知事表彰褒状】

社会福祉事業篤志奉仕者

(民生委員児童委員)

小野寺 英 子 様

春日 京 子 様

佐藤 祐 章 様

須田 祐 子 様

社会福祉事業従事者

池田 良 子 様

伊藤 真 美 様

及川 潤 子 様

小野寺 恵 子 様

民間福祉団体

唐桑町こすもす会 様

【宮城県社会福祉協議会会長表彰 表彰状】

民生委員・児童委員功労者

小野寺 かづ 子 様

小野寺 幸 子 様

社会福祉協議会役職員功労者

神山 正 志 様

熊谷 健 様

斉藤 建 雄 様

菅原 初 美 様

鈴木 治 雄 様

畠山 静 良 様

藤原 智 様

社会福祉施設職員功労者

遠藤 勝 洋 様

大崎 浩 二 様

熊谷 康 司 様

金野 桂 子 様

菅原 浩 平 様

三上 広 中 様

民間社会福祉団体等役職員功労者

伊東 貞 之 様

【宮城県民生委員児童委員協議会会長表彰 表彰状】

永年勤続民生委員・児童委員

田村 泰 二 様

村上 吉 行 様

小野寺 美 奈 様

阿部 美 和 子 様

小野寺 秀 子 様

鈴木 醇 憲 様

菅野 壽 子 様

齋藤 友 江 様

尾形 和 子 様

吉田 まさえ 様

鈴木 妙 子 様

千葉 光 広 様

岩 淵 正 之 様

菅原 篤 子 様

遠藤 多 栄 子 様

岩 槻 光 子 様

【宮城県民生委員児童委員協議会会長表彰 感謝状】

民生委員・児童委員活動支援者

小 鹿 勝 弘 様

熊 谷 郁 子 様

鈴木 俊 明 様

木 田 節 朗 様

小 山 義 廣 様

大 和 富 治 様

鮫 名 富 治 様

遠 藤 佑 佳 様

斉 藤 順 平 様

村 上 平 様

(順不同)



—— 地域で語り合うこれからの「支え合い」 ——

安心して暮らせる地域づくりをめざし、各地区で懇談会や講演会が行われました。

● 唐桑地区社協 講演会

11月9日、燦さん館を会場に、東北福祉大学の石剛史准教授を講師に迎え、「これからの“支え合い”～地域づくりの未来を考える～」と題した講演会を開催しました。

当日は自治会長や民生委員、地域住民など約100名が参加し、少子高齢化や担い手不足など地域課題を踏まえ、住民同士が支え合う「互助」の重要性を学びました。

講演では、那須塩原市や長野県茅野市の実践を交え、地域の見守りや助け合いが孤立防止につながることを紹介され、「ケアリングコミュニティ※」の理念を共有する貴重な機会となりました。

※住民同士が互いに支え合い、安心して暮らせる地域をめざす考え方で。



● 新月地区社協 情報交換会

9月18日、新月公民館で情報交換会を開催しました。高齢者や認知症の方が増える中、地域で気軽に集える場を広げ、社会参加や交流、見守りにつなげる取り組みについて情報を共有する機会となりました。発表団体からは、場づくりの工夫や役割分担、小さな単位での見守りなど、無理なく継続するための工夫が紹介されました。参加者からも多くの質問が寄せられ、この会をきっかけに、地域で話し合いの場の開催を検討する地区もありました。



● 上地区社協 住民懇談会



防災力の向上を目的に、11月9日、駅前コミュニティセンターで住民懇談会を開催しました。当日は、市危機管理課の職員から、正しい避難行動や日ごろの備えについて説明を受け、「知識だけでなく、判断や行動の訓練を重ねることが大切」と話されました。その後は質疑応答や意見交換が行われ、参加者からは「近くに福祉避難所が必要ではないか。駅前プラザを活用できないか」といった声も寄せられました。今後も地域の安心のため、防災の取組を進めていきます。

3

「心配ごと」

「困りごと」の相談は…

・ ふれあい相談センター 【場所・市社会福祉協議会本所】

電話 22-0709 (月・火・水・金・9時～15時) でお受けしております。(祝日はお休み)



生活支援体制整備事業とは

住民や関係団体がつながりながら、支え合いの仕組みづくりを進める事業です。各地区での活動を紹介し合いながら、話し合いの場（協議体）づくりも進めています。「こんなことをやってみたい!」という思いを、私たちが応援します。

牧沢自治会「牧沢地区交流会in支援学校」

松岩地区

地域の誰もが仲良く安心して暮らせるように—そんな思いで昨年からスタートしたこの取組も、今年で2年目を迎えました。

10月11日、気仙沼支援学校を会場にニュースポーツや、いつも顔を合わせている方々の写真を使った神経衰弱をウォークラリー形式で楽しみ、会場は笑顔に包まれました。



また、自治会の皆さん手づくりの温かい芋煮やさんま焼きも振る舞われ、地域のつながりを実感する一日となりました。

面瀬小学校1年生との世代間交流会

面瀬地区



10月29日、面瀬地区自治会長連絡協議会と面瀬小学校1年生との世代間交流会が開催されました。継続的に行われているこの事業は地域住民と子どもの顔を合わせる機会が増え、見守り・見守られる関係や気に掛け合う気持ちを育み、より安全な地域づくりにつなが

ています。遠藤光夫会長からは、「70名以上の交流会となりました。子どもたちとの交流を楽しみにしていた住民も多く、今後も継続していきたい」と話していました。





ひろげよう! 支え合いの地域づくり **生活支援体制整備事業**

あなたの身近にもある“地域のお宝” 小さな取組が、やさしいつながりを生んでいます。

ここでは、各地区で広がる支え合いの実践を紹介します。



大島フレイル予防サークル

大島地区

月に1回毎週第3金曜日に定期的に活動しています。会員のなかには介護予防サポーターの方もおり、介護予防体操を中心に毎回楽しく活動しています。

今年の大島公民館まつりでは、日頃から取り組んでいる、「海潮音体操」を実践発表されました。



本吉町老人クラブ連合会 ペタンク大会

本吉地区



今回は地域の老人クラブから約40名が参加し、楽しく競い合いました。

笑顔で声を掛け合いながらプレーする姿からは、健康づくりはもちろん、仲間づくりや閉じこもり予防にもつながる、老人クラブ活動ならではの良さが伝わってきました。

今回の大会も、参加者の元気な笑顔があふれるひとときとなりました。

生活支援体制整備事業を紹介するパネル展示を行いました



生活支援体制整備事業では、事業の周知や地域活動団体の紹介など、地域支え合い推進員が作成したパネルを公民館など4カ所に展示しました。今後も市内各地で展示を行う予定です。





“広がる”企業・団体の社会貢献活動

企業・団体による社会貢献の取組は、市内でも広がりを見せています。今回は、その中から2つの活動を取り上げてご紹介します。

仙台トヨペット株式会社気仙沼店

9月2日、小田の浜海水浴場にて、仙台トヨペット株式会社気仙沼店の皆さんが海岸清掃活動を行いました。当日は暑い中、朝からゴミや流木などを拾い、1時間ほどで砂浜はすっかりきれいになりました。



「仙台トヨペット株式会社では、今年度から年に1回、県内すべての営業所で一齐にボランティア活動を行う取り組みを始めました。地元の企業として、地域の美化活動などに貢献していきたい」と話されていました。



ダイナム気仙沼店

ダイナムでは地域の一員として積極的な社会貢献活動を実施していきたいとの理念から様々な地域貢献活動に取り組まれています。



ダイナム気仙沼店でも、月に1回、松川地区の清掃活動に取り組まれているほか、近隣の企業の方々と協力した清掃活動や、月に3回、新城小学校の近くの横断歩道に立って登校の見守り活動、マザーズホームへのおもちゃ等の寄贈、赤い羽根募金への協力などを行っています。「今後も地域の皆さんとのつながりを大切に、活動を続けていきたい」とのことでした。



平時のつながりが、災害時の力に ～目黒区社協職員との相互応援協定を通じて～



目黒区社協と気仙沼市社協は、平成28年11月に「災害時の相互応援協定」を締結し、これまで情報交換や人事交流などを継続して行っています。

今年度は、目黒区社協から職員2名が来市し、災害ボランティアセンターの平時からの取組や情報発信、住民同士の支え合い活動などについて意見交換を行いました。

また、能登半島地震や大雨災害の被災地における災害ボランティアセンターへの応援派遣報告も交え、災害時の連携体制や対応の在り方について意見交換を行いました。

今後も、災害時はもとより、平時からのつながりを大切に、互いに学び合う関係を継続していきます。

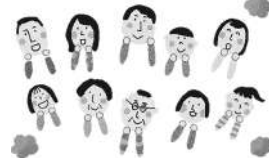


今年もやるよ～☆ ユニバーサル交流会

障害があってもなくても、誰でも楽しめる体験型イベントです。

【来て・見て・知って・楽しんで！】

- ◎見えない世界を知る〈まっくら体験〉
- ◎点字や手話、スポーツ吹き矢などのニュースポーツ《わくわく体験ブース》
- ◎障害福祉サービス事業所の〈おしごとマルシェ〉
- ◎ハンディっことその家族「ふぁみりあ」の〈ゆかいな遊び場〉



お昼には、鹿折地区ボランティアクラブ
による「すいとん」のお振舞いもあるよ☆
出会いや交流を通して、楽しくお互いの
ことを知ることが共生社会への第一歩！
みんなで遊びにきてね☆

日時：12月6日(土)

午前11時～午後2時

会場：市民福祉センター「やすらぎ」

生活福祉資金（教育支援資金）貸付制度について

(実施主体：宮城県社会福祉協議会)

- ◎対象世帯：低所得世帯（所得要件があります）
- ◎貸与内容：学校教育法に定められた高等学校・短大・大学などの入学や修学に必要な経費
- ◎他の給付金や融資及び貸付制度を利用することが可能な場合は、他の制度を優先にご利用いただくことになります

①教育支援費（授業料等）

| | 高等学校 | 専門学校・短期大学 | 大 学 |
|-------------|------------|------------|------------|
| 貸付額 (月額) | 35,000 円以内 | 60,000 円以内 | 65,000 円以内 |

②就学支度費（入学金、教科書代等）

| | 高等学校 | 専門学校・短期大学 | 大 学 |
|-----|-------------------------------------|-----------|-----|
| 貸付額 | 500,000 円以内で必要な経費 (支払い済みのものは対象外) | | |

*申込みから貸与まで最短で1ヶ月程時間を要しますので早目にご相談ください。

*他にも貸与に際して一定の要件がありますので、詳しくは気仙沼市社会福祉協議会 ☎22-0709) までお問合せください。

第5回 唐桑福祉アート展

共生社会～アートでつなぐ福祉の輪 開催

唐桑地区社協では、地域への理解を深めるため「第5回唐桑福祉アート展」を開催します。福祉施設や小学校などから多彩な作品が並ぶほか、特別企画として、陸前高田市のアーティスト・田崎飛鳥さんの絵画を展示します。

田崎さんは、生まれつき脳性麻痺による知的障害を持ちながら、多くの作品を生み出してきた方で、自然や草花をテーマにした、見る人の心を明るくしてくれる作品が魅力です。

7日には、パンやお菓子、雑貨等を販売する「ミニマルシェ」も開設します。

心あたたまる作品をぜひ会場でご覧ください。

月 日：12月7日(日) 展示・販売

12月8日(月) 展示

時 間：午前10時～午後3時

会 場：唐桑保健福祉センター「燦さん館」

問合先：唐桑地区社会福祉協議会 電話 31-2051



気仙沼市共同募金委員会から市民のみなさんへ

歳末たすけあい募金に

**12月1日～
12月31日**

ご協力をお願いします

今年の目標額は 4,400,000円 です

気仙沼市共同募金委員会では、上記金額を今年度の歳末たすけあい募金目標額と設定し、運動を展開して参ります。ご寄付はあくまで善意によるものですが、1世帯あたりの目安額を300円とさせていただきます。無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。



安心して暮らせる 地域づくりのために

地域の皆さまや関係機関・団体の協力のもと、「子どもの安心安全の支援」や「見守り訪問活動」等の福祉活動を行っている地区社協など、新しい年を迎える時期に、幅広い分野において支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるような配分を計画しています。



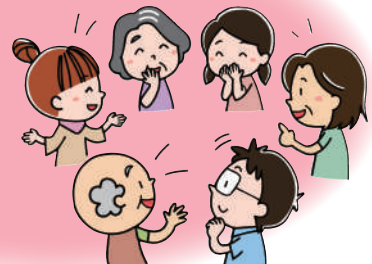
子育てに関する
分野の活動へ

障がい福祉施設・事業所等による
地域やボランティアとの交流事業

在宅寝たきり世帯・
長期入院の方へ



地域福祉団体が実施する、子どもから高齢者まで多世代交流事業や地域の課題解消につながる活動など



地域・子ども食堂
実施団体へ

障がい当事者団体と母子等福祉団体等に対して、会員相互の交流や情報交換の場づくりに



新入学児童への
安心・安全支援

フードバンク
事業へ

みんなでささえあうあったかい地域づくり

お寄せいただいた募金は、受配要望書に基づき、気仙沼市社協へ配分し活用されます。



赤い羽根共同募金
気仙沼市共同募金委員会
(気仙沼市社会福祉協議会内 TEL 22-0709)